



# 種子島の風

自主 友愛 誠実

西之表市立種子島中学校 令和元年度 学校便り 第13号 令和2年3月25日(水)  
旬の話題を豊富な写真で!「種子島中学校ブログ」を日々更新しています。どうぞ御覧ください!

## ◆ 一年間御支援ありがとうございました。素晴らしい一年でした。 ◆

学校長 柏木 昇

保護者、地域の皆様には、本校の教育活動への御理解と御支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

本日、修了式において、全校生徒に対して次のような話をしましたので、お知らせします。

今日は、令和元年度を締めくくる最後の日です。先ほど1年代表、2年代表に修了証書を授与しました。1年生133人全員、2年生127人が全員、無事課程を終了しました。進級おめでとうございます。そして、今、日高さん、濱川君、大石君の3人の代表の方に、「三学期の反省と春休みの決意」を発表してもらいました。

始業式同様、原稿を見ることなく堂々と発表してもらいました。発表するときは「原稿を見ないで発表する」というのが、この一年で種子島中学校の形になりました。3人の皆さんしっかりと準備して臨んでくれました。素晴らしい発表でした。

皆さんは、三学期はどんな学期でしたか。始業式の際、私は、三学期は、次の年の準備をする0学期である。「団体戦」で「自分を磨く」という話をしました。3月4日(水)から3月22日(日)まで、新型コロナウイルスの感染予防対策として、臨時休業としました。その臨時休業期間中に、公立高校入試が行われ、卒業式を実施しました。12日に行われた第11回卒業式では、第11期卒業生127人一人一人が堂々としていました。校訓である「自主 友愛 誠実」を示してきた3年生らしい、立派な卒業式ができました。13日は、公立高校の合格者発表が行われました。受検した全員が合格することができました。素晴らしい結果でした。3年生は、今、一人一人が自分の進むべき先をしっかりと捉え、力強くこれからの生活をスタートする準備をしています。

1、2年生の皆さんは、どんな3学期でしたか。最後の締めくくりをしなければならない、3月が臨時休業になり、やり残したことが色々あったことと思います。1月に行われた鹿児島学習定着度調査では、1年生も2年生も、5教科全てで鹿児島県の平均を超えました。この熊毛地区の平均も超えました。調査やテストは比べることが目的ではありませんが、熊毛地区は県内8地区ある中で一番高い結果でした。その熊毛地区の中心校である種子島中学校の頑張りは、県内の多くの方が認めています。1、2年生皆さん、よく頑張りました。

この一年は、元号が「平成」から「令和」に変わったこと、そして、長期に渡る臨時休業もあり、忘れられない印象に残る一年になりました。同時に、私は種子島中学校生徒が大きく成長できた一年であったと思います。明日から春休みになります。次のことを守ってほしいと思います。一つは、健康や安全に留意して、自分の命を自分で守る春休みにしてほしいこと。もう一つは、春休みの課題や1、2年の復習に、計画的に取り組んでほしいということです。

春休みは次の新しい学年の準備をする期間です。新型コロナウイルスで昨日までに、世界中で40万人が感染し、この1週間で感染者数は倍に増えています。臨時休業が終了して安心しているかもしれませんが、まだまだ世界中で感染が広がっています。今できるのは、マスクをしたり、手洗いや消毒をしたり、外出を控えたりするなど、「感染を予防する」ことです。「命を守る」ことは簡単なことではありませんので、体力や免疫力を高めてください。「規則正しい生活をする」ということが大切です。これが「自分を磨く」ことです。4月から新しく入学する新1年生から、「憧れの先輩」となれるようにしっかりと準備をお願いします。

結びに、皆さんで一同に集まるのはこれが最後です。令和元年度は、皆さん一人一人が前を向いて成長できた、素晴らしい1年になりました。ありがとうございました。一人一人が自信を持って、新年度に向かって準備を進めましょう。



## ◆ 「人」より「人間」たれ ◆

私が、まだ教員に成り立ての頃、ある保護者から、「先生、『人』と『人間』の違いは何ね？先生はどっちを育てているの？」と尋ねられたことがありました。私は「何を言っているのだろうか？」と訳も分からないまま適当にごまかしたことを覚えています。お恥ずかしい話ですが、当時の私は目の前にいる生徒たちの「何」を育てたいのか、明確なイメージを持っていなかったという訳です。以来、この学びを得てから、私は一貫して目の前の生徒たちに『人』より『人間』たれ」ということを必ず話してきました。今回、紙面をいただきましたので、最後に、この話題に触れさせてください。

以前、道徳の全体オリエンテーションで、この話題を生徒の皆さんに投げ掛けました。「人」と「人間」の違いって何なのか・・・？しばらく考える時間を設定し、考えさせました。そして、回答を求めると、勘のいい3年生の男子が『1』と『複数』と回答してくれました。正に、求めている回答でした。皆さん、「1」と「複数」の違いって何でしょう？

私は、よく手のひらを使って説明をします。片方だけでは、どんなに振ろうが音は鳴りません。ところが、両方が交わった瞬間、“パチン”と音を奏でることができます。つまり、両方の手のひらが交わることで、「音」という、まったく新しいものを創造することができる訳です。私は、中学生期の生徒の皆さんが、このことを身に付けることはとても大切なことであると考えています。どういうことかという、中学生の時期であるからこそ、身の回りのいろいろな人々と交わり、関わり合っ、自らの「人生」という新しい道りを築いてほしいと考えているからです。きっと、その道の過程には、楽しいことや面白くないこと、ねたみやそねみ、思わぬ行き違いなどいろいろあると思います。でも、それが「人生」なんです。周囲の人々との関わりから、より多くのことを学び、新しいものを創造していくことができる・・・、そのような種子島中生であってほしいと願っています。

その実現のためには、身に付けなければならないことがあります。それは「目配り 気配り 心配り」です。中学生の時期は「目配り」の時期といえるでしょう。自分の身の回りのいろいろな人々に目配りしながら観察すること。そして、いろいろな考えを持った人がいることを学ぶこと。それができるようになると、「今、あの人が考えていることはこんなことかな？」、「今、あの人が求めていることはこんなことかな？」と予想することができます。それに行動が伴ったとき、当に“気配りができる”状態となるわけです。そして、そのことを繰り返し経験しながら究めていくことで初めて「心を配る」ことができる人間になるのだと思います。「心配」という言葉は、どちらかというマイナスイメージ先行だと思うのですが、決してそうではなく、(私から言わせてもらえば)最高なことだと思います。ですから、種子島中生には、是非、「心を配る=『心配』」できる生徒になってほしいと願っています。

最後に、二年という短い期間でしたが、私も数多くの種子島の皆さんと交わることで「人生」というメロディを奏でながら「人間」として少しずつ成長できたのではないかと考えています。次の赴任先は、私が教員としてスタートした学校の隣の学校です。そこで、私も原点に立ち返って『心配』できる生徒」を育て続けたいと思います。

種子島の皆さん、これからも、地域と家庭と学校が一丸となって種子島中生を支えていただきますよう、よろしく願い申し上げます。本当に御世話になりました。心から厚く御礼申し上げます。

種子島中学校 第4代教頭 大園 克臣

### 〈 4月の主な予定 〉

・ 4/6 (午前) 新任式・始業式 (午後) 第12回入学式 1年PTA	・ 4/11 PTA新旧役員打合せ (17:00~種子島中)	※ 春休み期間中の部活動は全面中止となります。 ※ 現段階では、新年度から通常どおりの予定です。 ※ 4/6(月) 新任式、始業式 ・ 8:10 新学級名簿貼出 ・ 体育服、カバン、朝読書用図書を持参 ・ 給食開始
・ 4/7 知能検査, PAS 身体計測(2・3年)	・ 4/16 PTA代議員会 (18:30~各教室)	
・ 4/8 写真撮影, 身体計測(1年)	・ 4/17 検尿一次	
1・2年PTA	・ 4/20 家庭訪問開始(~28日) ※ 1年生は家庭訪問, 2・3	
・ 4/9 生徒会入会式・部活動紹介	年生は三者面談予定です。	